

## 31 パキスタン コハットトンネル 建設事業(1)～(3)

パキスタン初の大規模トンネル建設により  
貧困地域の社会・経済的発展に貢献

承諾額／実行額	126億1,800万円／125億5,000万円
借款契約調印	1994年11月～2003年2月
借款契約条件	金利1.8%～2.6%、返済30年(うち据置10年)、一般アンタイト
貸付完了	2002年1月～2006年9月
実施機関	国道公団 URL: <a href="http://www.nha.gov.pk/">http://www.nha.gov.pk/</a>



### 本事業の目的

国道55号線(インダス・ハイウェイ)のペシャワール～コハット間において、コハット峠の代替ルートとして全長1,885mのトンネルおよびアプローチ道路(北側7.74km、南側20.96km)を建設することにより、交通状況および基幹道路である国道55号線の機能の改善を図り、貧困率が高い北西辺境州の社会・経済発展を促進し、パキスタンの都市・地方における格差是正に寄与することを目的とする。

### 本事業実施による効果(有効性・インパクト) **評価a**

本事業において、トンネル・アプローチ道路を建設することにより、事業実施区間の交通量増加率実績は、2003年から2004年49%、2004年から2005年13%と堅調に伸びており、計画値(年率5%)を大幅に上回っている。また受益者調査(道路利用者105名対象)では、回答者の大半より本事業実施によって旧道と比して輸送時間が短縮され、走行費(燃料費)が削減したこと、安全かつ快適な走行が可能となったことについて意見が寄せられた。また、同調査ではトンネル、アプローチ道路の利用により通勤・通学が容易になったこと、その結果、授業の出席率が向上したこと、病院等の施設への移動時間が短縮されたことが確認された。よって、本事業の実施により概ね計画通りの効果発現がみられ、有効性は高い。

### 本事業実施と国家計画等との整合性(妥当性) **評価a**

本事業の実施は審査時および事後評価時ともに、国家計画等と合致しており、事業実施の妥当性は極めて高い。本事業

は審査時では第8次5カ年計画、事後評価時では全国ハイウェイ開発計画において道路セクターの整備が課題として掲げられている。

### 事業実施の経済性(効率性) **評価b**

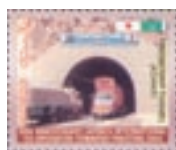
本事業は事業期間および事業費ともに計画を上回ったため(それぞれ計画比140%、149%)、効率性についての評価は中程度と判断される。事業遅延の主な要因は、土木工事開始までの詳細設計について見直しが必要になったこと等が挙げられるが、工事において二交代制が敷かれ、遅延は最小限に留まった。事業費増加の要因については、設計の変更に伴う工事の増加等が挙げられる。

### 今後の展望(持続性) **評価a**

本事業は実施機関の能力および維持管理体制ともに問題なく、高い持続性が見込まれる。実施機関である国道公団は、民間企業に対して委託しており、同企業への体制、技術等については特段問題ない。

### 結論と教訓・提言

以上により、本事業の評価は非常に高いといえる。本事業の教訓としては、用地取得・住民移転の実施を予定している場合には対象地域の社会・経済事情等をふまえ、できる限り早期に対策を講じておくべきであること等が挙げられる。今後、本事業の効果を把握すべく、実施機関による定期的なモニタリングを行っていくことが望まれる。



コハットトンネル開通を記念して発行された切手

### 開発途上国専門家の意見

本事業は、事業実施区間の交通量増加、安全性の向上、北部辺境地域住民を含む、多くの人々の生活環境改善に多大なインパクトを及ぼした。

専門家の氏名: Mr. Abdul Kader Jaffer (民間企業)  
在英パキスタン高等弁務官等を経て、現在、パキスタン日本ビジネスフォーラム会長、アーマッドジェファー企業グループ会長のほか、複数の国際企業フォーラムの創設と運営に携わり、企業慈善活動家としても知られる。